



沼津市文化財 センター通信

Vol.4

2020年12月発行



文化振興課公式FB



沼津市公式Youtube Ch.
(沼津の歴史紹介)



出土品からみる古代沼津の水産加工

今年も残すところあとわずかになりました。寒い日が続くこんな日は、お鍋でも食べて温まりたいですね。文化財センターの第2展示室には、そんなお鍋の形によく似た土器が展示されているのをご存知ですか？



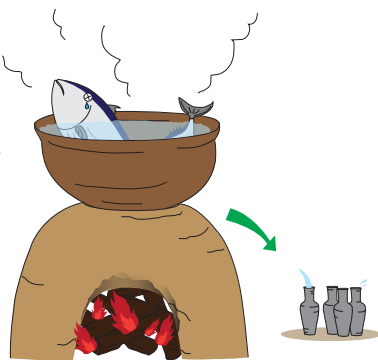
藤井原遺跡出土土器（左上が埴形土器）

左にある写真の土器は、^{ふじいばらいせき}藤井原遺跡（下香貫）の発掘調査で発見された奈良・平安時代の土器です。特に写真左上の土器は煮炊きの道具として使われたもので、他の土器に比べ口が大きく開き、丸みを帯びた形が、私たちがいつも使っている鍋に似ていることから「^{なべがた}埴形土器」と呼ばれています。

藤井原遺跡の他に、^{みゆきちょう}御幸町遺跡（御幸町）や^{せんぽん}千本遺跡（千本）といった同じ時代の遺跡からも出土しており、当時の生活には欠かせないものであったことが伺えます。

一度に大きなものを煮込むことができるこの土器は、カツオなど大きな魚を煮て、腐らないよう加工するために使用していたと考えられています。また、その時に取れる煮汁も調味料として有効活用されていました。奈良時代の都である平城京から出土した資料によると、沼津周辺の地域からカツオが貢納品として都に運ばれていました。この埴形土器で加工生産された海産物も、その一部は貢納品として都へ送られていたのかもしれません。

現在はアジの干物が特産品として有名ですが、この頃からすでに海産物の加工生産が行われていたようです。

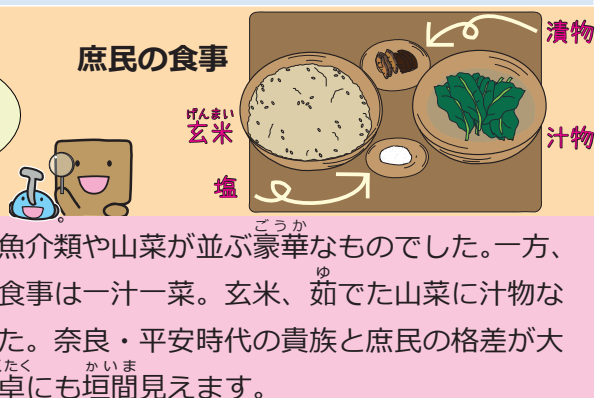


比べてみよう！
^{きぞく}貴族と^{しよみん}庶民の食事
そんなに違うのかな？

お米を主食に、主菜と副菜をつける食事は現代とさほど変わりませんが、当時の食事の回数は1日2回でした。獲れたカツオを貴族が暮らす都へ納めていたとされる当時の沼津の人々ですが、貴族と庶民の食事には違いはあったのでしょうか？



貴族以外、大半は質素な食事でした



貴族の食事は主食のお米に魚介類や山菜が並ぶ豪華なものでした。一方、地方で暮らしていた庶民の食事は一汁一菜。玄米、茹でた山菜に汁物など、かなり質素なものでした。奈良・平安時代の貴族と庶民の格差が大きかったことが、当時の食卓にも垣間見えます。



夏は沼津が熱かった！
子供達の生の声！

市内の小学5、6年生・中学生が参加した

夏の文化財イベント



長浜城跡

市街地から車で30分の水軍の城♪
山あり海あり歴史あり！見どころ満載！



手に乗った～♪

カニ！！

<感想>

- ★コロナ禍の中
身近で夏休み
を楽しめた！
- ★たくさんの
生物に触れ
観察できた♪

ウニやイソギンチャク
様々な生物がいるな～

8月8日(土) 長浜城跡探検



白井先生と
生き物観察

いにしへの航海を体験しました！

9月20日(日)
丸木舟乗船体験

え？これが丸木舟？
水に浮くの？



文化財センターにて

池谷先生の
講座学習



- ★地元で自然や
歴史を学べて
充実した1日！
- ★先生の説明が
分かりやすい♪



木村学芸員の
歴史学習

<感想>

- ★昔の丸木舟と現代のカヤック！
道具の進化を実感・体験できた♪
- ★先生方の体験談や丸木舟時代の話
が面白かった！



上野先生と
カヤック乗船

牛臥海岸にて

大昔の舟でも
ちゃんと浮くんだな～♪



鈴木先生と
丸木舟乗船

- ★操縦が難しかったが
慣れると楽しい！
- ★もっと遠くまで丸木
舟を漕いで行ってみ
たい！

案内図



沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分
(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)

見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下 530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

